

1. 科目名 (単位数)	教育・学校心理学／教育心理学 (4単位)		3. 科目番号	PSMP3116
2. 授業担当教員	成本 忠正			
4. 授業形態	講義および演習、ディスカッション		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。			
7. 講義概要	教育心理学とは子どもを教育していく上で必要となる人間科学の知識を提示し、子どもの成長を促すためのより良い教育とは何かを心理学的視点から解説する学問である。教育心理学の基礎とされる発達、学習、人格、測定・評価の4つの領域について基礎知識を深め、今日の教育の現場が必要としている問題解決のための諸要因を解説する。本講義では、以上のような基礎的知識の習得に加え、事例に則り、それらの知識をいかに教育の実践に役立てていくのか検討する。併せて、現実の教育現場で起きている諸問題に対する支援の在り方についても考察する。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学と心理学の深い関係を理解し、説明できるようになる。 2. 教育場面において生じる問題及びその背景について指摘できるようになる。 3. 子どもの発達と学習能力を高めるさまざまな要因について理解できるようになる。 4. 教育の目的から考える学校生活のあり方：理論と実践の違いを理解し、説明できるようになる。 5. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について考察できるようになる。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業で紹介された教育心理学研究で得られた知見について詳細にリサーチし、それが教育現場でどのように貢献しているのかについてレポートを作成する。 2. 各テーマの終了後に簡単な小テスト (15分程度) を実施する。 3. グループディスカッションの結果・リサーチ研究を発表する。 			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 工藤俊郎・高井直美・上田恵津子・菅原康二『基礎から学ぶ教育心理学』八千代出版、2009。 2. 適宜、関連テーマの資料を配布する。 			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育学と心理学の関係、子どもの発達と学習能力について十分に理解できたか。 ・ 学習の場における諸問題についてはグループディスカッションに積極的に参加できたか。 ・ 基礎的な知識を習得できたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平常点 (授業態度・授業への参加・諸活動) として 50% 2. まとめの課題 (テスト・レポート・発表など活動) として 50% 			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育心理の考え方、視点を修得すると、人生のあらゆる場面においても応用可能と考えられます。それを修得するため、まず他の学習者との相互学習を通して、授業で出された様々な課題に積極的に取り組んでください。特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、一時の無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッションへの不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。 2. 初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず初日の授業に出席してください。 3. 受講生の理解度や要望によりシラバス内容を調整する場合があります。 			
13. オフィスアワー	オフィスアワーについては初回の授業で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	ガイダンス 教育心理学とは何か	事前学習	教科書【教育心理学の成り立ち】を読み、教育心理学とは何かを考える。	
		事後学習	教育心理学の全体内容のイメージをつくる。	
第2回	教育心理学の歴史と研究法を知る	事前学習	教科書【教育心理学の成り立ち】を読み、教育心理学の歴史と研究方法を読む。	
		事後学習	教育心理学の意義について復習する。	
第3回	発達の基礎概念について理解する	事前学習	教科書【発達の基礎概念】を読み、人の発達特徴を理解する。	
		事後学習	発達に影響を与える要因について復習する。	
第4回	発達段階 (理論とモデル) について理解する	事前学習	教科書【発達段階理論】を読み、各モデルの特徴を理解する。	
		事後学習	認知・社会性・道徳の発達モデルの特徴および相違について復習する。	
第5回	発達に関する研究成果を知る	事前学習	教科書【一般的発達区分】を読み、近年における研究成果を理解する。	
		事後学習	知性・社会性に関する知見について復習する。	
第6回	動機に関する理論を理解する	事前学習	教科書【動機づけ】を読み、社会的動機づけを理解する。	
		事後学習	社会的動機づけの種類と特性を復習する。	
第7回	動機づけ (欲求) を理解する	事前学習	配布資料【動機づけ】を読み、摂食障害・欲求不満・葛藤について理解する。	
		事後学習	欲求のメカニズムを復習する。	

第8回	学習意欲について理解する	事前学習	教科書【学習意欲】を読み、どのような要因で学習意欲が高まるのかを理解する。
		事後学習	教育場面における達成欲求について復習する。
第9回	古典的条件づけ学習について理解する	事前学習	教科書【学習の理論】を読み、古典的条件づけ学習のメカニズムを理解する。
		事後学習	教育現場における古典的学習の効果について復習する。
第10回	オペラント条件づけ学習について理解する	事前学習	教科書【学習の理論】を読み、オペラント条件づけ学習のメカニズムを理解する。
		事後学習	教育現場におけるオペラント学習の効果について復習する。
第11回	学習理論の応用を理解する	事前学習	配布資料【学習理論の応用】を読み、学習理論の社会的貢献について理解する。
		事後学習	罰・学習性無力感をさらに深く理解する。
第12回	学習指導の理論を理解する	事前学習	配布資料【学習指導】を読み、学習意欲を妨げる要因について理解する。
		事後学習	発達障害児・学習意欲が低い生徒に対する効果的な方法について復習する。
第13回	知能（知能モデル）について理解する	事前学習	教科書【知能】を読み、複数の知能モデルが存在することを理解する。
		事後学習	知能とは何かを考える。
第14回	創造性（定義と役割）について理解する	事前学習	教科書【創造性】を読み、問題解決能力との関連性を理解する。
		事後学習	創造性とは何かを考える。
第15回	教育評価について理解する	事前学習	教科書【評価】を読み、評価方法の種類とそれぞれの特徴を理解する。
		事後学習	各評価方法の種類および長所・短所について復習する。
第16回	パーソナリティ形成について理解する	事前学習	教科書【パーソナリティ理解の方法】を読む。
		事後学習	観察法・面接法・検査法の利点と欠点について復習する。
第17回	社会との関係（向社会的行動）を理解する	事前学習	配布資料【向社会的行動】を読み、この行動を引き起こす要因を理解する。
		事後学習	向社会的行動の生起要因を復習する。
第18回	社会との関係（学級集団）を理解する	事前学習	配布資料【学級集団】を読み、社会性がどのように育まれるのかを理解する。
		事後学習	社会性を育てる学級集団の役割を復習する。
第19回	学校適応（不適応行動）を理解する	事前学習	配布資料【不適応行動】を読み、その特徴を理解する。
		事後学習	その種類と行動傾向について復習する。
第20回	リサーチ発表準備	事前学習	各グループで発表内容について話し合う。
		事後学習	各グループで発表内容について話し合う。
第21回	学校適応（不適応行動の要因）を理解する	事前学習	配布資料【不適応行動】を読み、その原因を理解する。
		事後学習	不適応行動の要因である神経症・精神病について復習する。
第22回	リサーチ発表準備	事前学習	各グループで発表内容について話し合う。
		事後学習	各グループで発表内容について話し合う。
第23回	授業内容のまとめ	事前学習	教育心理学研究の意義とは何かを考える。
		事後学習	これまでの授業内容を自分なりにまとめ、教育心理学の重要性を理解する。
第24回	リサーチ発表準備	事前学習	各グループで発表内容について話し合う。
		事後学習	各グループで発表内容について話し合う。
第25回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第26回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第27回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第28回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第29回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。

第30回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。